

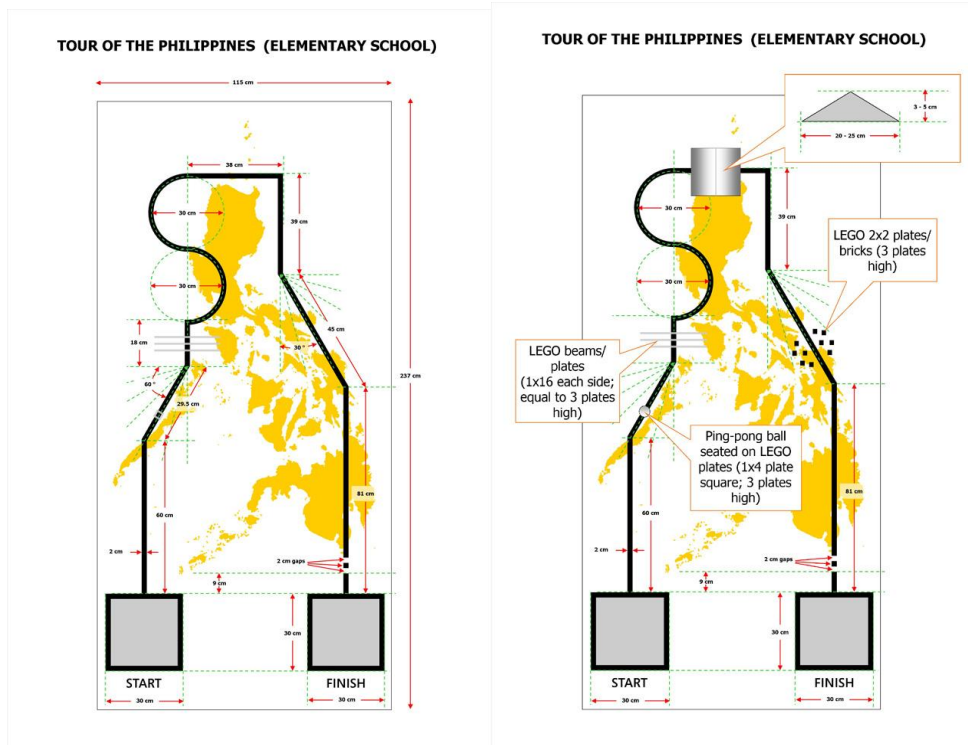
(10/12 更新…赤字部分)

TOUR OF THE PHILIPPINES ツアーオブフィリピン (小学生部門)

ロボットはスタート地点から引かれた線に沿って走行し、最短時間でコースを完走すること。

1. 競技コート

サプライズルールがある。



< 競技コートの誤差±50mm >

1. 競技コートは木材、プラスチック等の数種類の材料で作られ、競技ごとに必要な色に着色される。
2. コートは長さ 2370mm、幅 1150mm。

2. ルール

- ・コートサイズは 1150mm×2370mm。ラインの幅は 20mm±2mm。
- ・コースは以下の5つの要素（ミッション）が少なくとも1つずつで構成される。
 - 坂道
 - 障害物
 - ハードル
 - カーブ
 - ピンポン球 移動させるかフィニッシュエリアに持ち帰る。もしくはその両方。
- ・ミッション a、b、c(WROJ 実行委員会注：坂道、障害物、ハードルを指すと思われる)の数・正確な順序・場所は大会当日発表され、大会期間中はそれを使用する。カーブとピンポン球の位置は固定である。ピンポン球はレゴのスタッドの上に置かれる。坂道・障害物・ハードルは競技フィールドに固定される（例えば両面テープを使用）。
- ・スタート地点はランダムに選ばれる。大会当日発表され、大会期間中はそれを使用する。

- ・練習用コート（および練習用スタート地点）は練習時間に提供される。これは大会コートと同じではない。
- ・ロボットはスタートポイントからラインをたどり、コースをすべて走りきり、フィニッシュエリアに帰らなければならない。
- ・審判がラインを外れたことを宣言したら、また、ロボットがフィニッシュラインを無事に越えたら、選手は直ちにロボットを止めなくてはならない。ラインを外れたとは、ロボットのすべてのパーツもしくはロボットの垂直な突起部がラインの片側の上にあることを意味する。ロボットはスタートエリアからフィニッシュエリアまで、長さ 250mm、幅 250mm のロボットサイズを守らなくてはならない。
(10/12 更新)ロボットは、ピンポン玉を取る時に 250mm×250mm を越えても、ゴール時に 250mm×250mm に戻っていればよい。
- ・競技時間は2分間である。時間は審判がスタートの合図の笛を吹き、ロボットがスタートした時点で計測される。

3. ミッションポイント

- ・坂道通過=15 ポイント
- ・障害物通過=15 ポイント
- ・カーブ成功=15 ポイント
- ・ハードル通過=15 ポイント
- ・ピンポン球を動かすかフィニッシュエリアに持ち帰る、またはその両方=40 ポイント

4. 合計得点

- ・15 ポイント（坂道）+15 ポイント（障害物）+15 ポイント（カーブ）+15 ポイント（ハードル）+40 ポイント（ピンポン球持ち帰り）
最大 100 ポイント
- ・同得点の場合、タイムにより順位を決定する。